

猪狩史山 (總) 隨筆家、小説家。明治六年十一月五日福島縣生れ(一六三二)。本名又藏。明治二十六年東京文學院卒。日本中學校教員、のち校長。

著編書 『東洋乃人豪(第一編)』(明治四十三年十一月五日 有朋堂書局 刊)、杉浦重剛著 『知己八賢』(編、大正三年四月二十八日博育堂)。

訂正・十年六月一日明治圖書株式會社)、同 『日本の精神』(編、大正五年六月二十日廣文堂書店)、 『佐佐木高美大人』(本名、編、大

正八年七月二十日岩波幸之輔刊)、 『己び行く文明』(大正十一年四月

十二日澤藤出版部)、 『老子の面』(大正十二年一月二十日大阪屋號

書店)、 『天の莊子』(大正十二年五月二十日大阪屋號書店)、 杉

浦重剛遺著 『天公道十詩歌集』全二冊(本名、共編、上、下、大正十

四年二月一日世界文庫刊行會「世界文庫」)、 『天台道十詩錄』(同

中野重共著、大正十四年二月二十日政教社。改題再刊 『杉浦重剛座談

録』昭和十六年八月十五日岩波書店「岩波文庫」)、 『老莊隨筆』(昭

和二年九月十五日古今書院)、 『續老莊隨筆』(昭和二年十一月十五

日古今書院)、 『愛國心』(小笠原長生共著、昭和四年五月五日奉仕

會出版部)、 『杉浦重剛先生小傳』

(昭和四年十一月四日日本中學校同

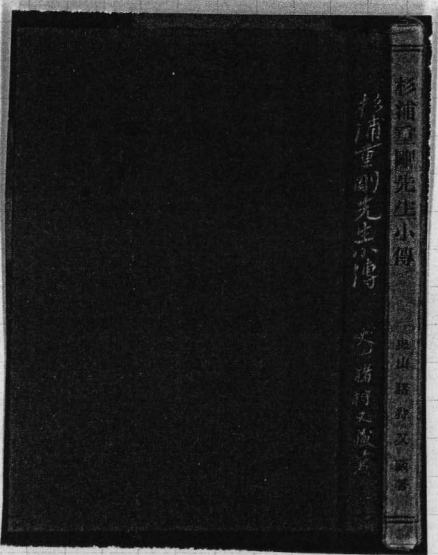
窓會出版部)、 『日本皇室論』(昭

和七年六月十五日日本皇室論刊行

會)、 『野人言』(昭和七年二月

二十日香蘭社)、 杉浦重剛著 『倫理綱

進講草案抄』(本名、編、昭和十二年二月一日杉浦重剛先生倫理綱進



- 講草葉刊行會)、  
 『印度航路發見者ウヰ・ス・ダ・ガマ』(小西千比古編、昭和十六年八月一日東半球協會「東半球資料南洋資料」)、  
 『杉浦重剛』(昭和十六年八月一日五台新潮社「新傳記叢書」)、  
 『支那賢哲録』(昭和十七年十一月二十日清水書房)、  
 『印度論』(雜覽博覽編、昭和十八年七月五日東半球協會「東半球資料」)等。